

□ 要請番号 (JL00920A01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マレーシア	G159 数学教育		個別	新規	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

東南アジア教育大臣機構

2) 配属機関名 (日本語)

理数科教育センター(SEAMEO RECSAM)

3) 任地 (ペナン州グレゴール) JICA事務所の所在地 (クアラルンプール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約2.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)は、ASEAN加盟国の教育、科学技術、文化を通じ、加盟国間の協力を促進することを目的として1965年に発足。初等・中等理数科教育の質的向上を目指して理数科教育センター(RECSAM)を1967年にマレーシアに設立された。配属先はASEAN諸国等の現職教員研修とASEAN共通副教材開発やASEAN共通理数科カリキュラムの開発等の研究・開発を実施している。年間予算は約3億円。2018年度4次隊隊員(理科教育)が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は5カ年毎に策定する研修計画に基づき、ASEAN諸国から生徒や学生、教育関係者等を招聘し、毎年4月及び8月の各1カ月間の理数科研修を実施している。また、国内外の教育機関からの随時要請に基づき、小学校から大学等の児童生徒・学生・教員等を対象に、学習者が単元を楽しみながら学ぶことができるワークショップを実施している。配属先講師はASEAN諸国から派遣されており、特に授業研究の取組みに対する関心は高いが、児童生徒・学生・教員等にとって身近な素材を活用する学習者主体の授業力・指導力、教材研究能力が十分でない。このことから数学科の講師の教育力の向上を図り、学習者主体の研修・ワークショップの内容を更に魅力あるものにすべく本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚とともに、学習者の算数・数学教科に対する興味・関心を高められるよう主に次の活動に取り組む。

1. 国内外の児童生徒・学生・教員等に対する学習者主体のワークショップの立案・実践・改善を行う。
2. 研修やワークショップの参加者に対し、身近な素材を用いた実践的な授業スキル・アイディアの紹介と実践を行う。
3. 配属先同僚の様々なアイディアを活かし、ワークショップなどを通じて研修カリキュラムの改善や教材研究・開発に関する助言・指導を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室(机、椅子、コンピュータ、スキャナー、プリンター、インターネット環境など)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

副所長(60代女性、修士、教授経験35年以上)

数学科講師(60代男性、修士、教授経験35年以上)

数学科講師(60代女性、博士、教授経験35年以上)

活動対象者:

国内外の児童生徒、学生、教員、指導官等

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:A)

【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(数学))

[学歴]：(大卒)理工系 備考：同僚とのバランス

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験)10年以上 備考：教員への指導が含まれるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25~35°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

配属先のホームページURL(<http://www.recsam.edu.my/>)